AKITAKATA LIFE REPORT

協力隊ライフ vol.3

「安芸高田市を元気にしたい」「何か役に立ちたい」
そんな想いを胸に、安芸高田市に飛び込んできた協力隊たち。
この町で何ができるか、町の未来を思いながら、今日もそれぞれの場所で活動中。
協力隊のリアルな日常と地域とのつながりを、ゆるっと紹介していきます！

SHIIBA YUTAKA
椎葉 寛

神楽門前湯治村の
テナント跡地活用

2024.7～

平日の湯治村に、賑わいを。

こんにちは！2024年7月に地域おこし協力隊に着任した椎葉寛です。神楽門前湯治村の更なる賑わいづくりに取り組み、早くも1年が経ちました。現在は「地域の方々に湯治村を有効利用していただきたい」という思いから、従業員の皆さんと協力して平日のイベントを企画しています。さらに、今年7月からは平日未使用のスペース(お食事処ふくすけ)を活かし、期間限定でカフェもオープンしました。
カフェではゆっくり寛げる空間を作り、地域生産者様の手作り商品を販売したりと、地域の方に有効利用していただく仕組み作りを心掛けています。これからも賑わいを起こすための仕掛けを、地域の皆さんと一緒に作り上げていきたいと思いますので、どしどしご意見をお聞かせくださいね！
今年7月から木曜のみ期間限定で始めた「ふくすけカフェ」。少しずつですが認知が広がっているように感じます。今後は“ふくすけカフェ”のレギュラー営業実現に向けて取り組んでいきます。

－2025.08.28－

おしえて!!

協力隊ってどんな人??

安芸高田市の好きなところ

取材撮影を通して、暮らしを心から楽しんでいる人に沢山出会います。
レンズを通して出会う笑顔や日常のひとコマから、それぞれの「豊かさの形」を見つけることができ、私もこんな暮らしがしたいなと感じる瞬間が好きです。
そして、畑で採れた野菜を分け合ったり、四季折々の自然を楽しめたり、安芸高田市には暮らしの中に、人の温もりや魅力が溢れていると思います。私なりの豊かな暮らし方を見つけていきたいです。

Instagramを活用した魅力発信
藤田 京花

私は吉田町が大好きです。吉田町は私にとって、技能実習生の頃から過ごした大切な場所です。人の温かさや自然の美しさに触れるたび、ここで暮らせる喜びを感じます。任期も残り約1年。これからも、自分の経験を生かして外国人技能実習生の支援に取り組み、日本人も外国人も安心して楽しく暮らせる安芸高田市を作っていきたいと思います。

ベトナム人コミュニティ構築
ホアン グエン

朝は鳥のさえずりで自然と目が覚め、通勤の途中には田んぼの景色が広がり心が落ち着きます。5~6月の夜には蛍が舞い、冬には雪が積もって子どもたちがはしゃぐ姿に癒されます。都会から一時間ほどでアクセスできるのに、里山の原風景が残り、自分らしく過ごせる時間があります。そんな日常があるからこそ、安芸高田は暮らしやすいまちだと感じています。

事業承継・商工振興推進
岡本 康太郎

安芸高田の好きなところと言えば移住前から元々好きだった湯治村や神楽は外せませんが、協力隊として活動を始めて中に入ったことで、そこに関わる「人」も好きになりました。特に神楽団員の方々の神楽熱は、聞いているだけでこちらも胸が熱くなります。安芸高田の神楽22団体を存続させてきた誇りと、これからも何十年と継承していきたいという想い、抱えている情熱と神楽に対する姿勢は本当に見習いたいです。

神楽門前湯治村のテナント空き地活用
椎葉 寛

「安芸高田市の魅力は？」と聞かれると、好きなところが多すぎて答えに迷います。人の温かさや自然の豊かさなど魅力はたくさんありますが、この8月の“蝉も鳴りやむこの暑さ”を避けるスポットとして私が紹介したいのは『八千代町上根の善教寺』です。54号線からほんの少し峠を上ると、不思議と喧騒からは遠ざかり、静かに佇む全面欅づくりのお堂が来訪者を迎えてくれます。山から下りてくるさわやかな風と住職と奥様の慈悲溢れる人柄に触れて心が落ち着きます。

吉田高校の魅力化推進
下林 悠治

安芸高田市の好きなところは、暮らしの中に小さなワクワクがたくさんあることです。春は道端に顔を出す山菜を見つけるのが楽しく、夏には川辺で蛍を探しに行ったりもします。家の近くで鹿に出会って、思わずその姿を目で追ってしまうことも。自然がすぐそばにあるからこその発見が、日々の暮らしをちょっと特別にしてくれます。そんな瞬間を重ねることが楽しみになりました。

ふるさと納税推進
金廣 愛璃

向原高校の魅力発信・地域連携
松川 拓馬

僕のこの町で好きなところは「のどかさ」です！
安芸高田市に移住してきて1年が経ち、地域にも少しずつ馴染んできました。そこで感じる温かい人間関係、自然豊かな環境でゆったり流れる時間。だからこそ、いつでも素に戻れる。そんな場所ですが、スイッチを入れるときは自宅に籠れば集中して取り組むこともできる。そんな両面を持ち、自分でコントロールできるこの町が僕の好きなところです。

生桑地区の地域振興
寺内 宏明

私が安芸高田市に来て最初に感動したのは、満天の夜空でした。車に乗り込むとき、ふと見上げた空のあまりの美しさに、時が経つのを忘れて見入ってしまったことを今でも覚えています。今でも時々夜空が見たくて深夜に外へ出て眺めることがあります。人の温かさや豊かな自然も素晴らしい魅力ですが、「安芸高田の好きなところは？」と聞かれると、真っ先に思い浮かぶのはやはり星いっぱいの夜空です。

伝統と耕作放棄地を活用した町づくり
長門 和美

わたしの安芸高田市の好きなところは、朝、山霧が出やすいところ。日の出前に起きて、窓を開けるとそこには幻想的な濃い霧が出ていて、鳥たちが鳴く声を聞きながら、一歩外に出れば繊細なミストが肌をひんやり潤す。日が昇ると、光が霧を裂き筋を描く。その光が野山の植物に届いたとき、その緑の嬉しそうな発色にハッとする。そんな、山霧の中の朝、水滴の感触と、光の中の色を感じながら散歩をするのが好きです。

藤田隊員からお知らせ

協力隊ライフをご覧下さっている皆様へ

「Instagramを活用した魅力発信プロジェクト」というミッションで2023年10月より活動しております、藤田京花です。

この度、9月末をもちまして地域おこし協力隊の任期を終了し、退任することとなりました。

着任してからの2年間、SNSでの市の魅力発信やイベント企画、地域の方の取材・撮影を通じた交流など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。活動を進める中で、地域の方々に温かく声をかけていただいたり、SNS投稿素材を一緒に作り上げていく時間は、私にとってかけがえのない経験となりました。

活動を通じて感じたのは、安芸高田市の豊かな自然や文化はもちろん、人と人とのつながりの大切さです。地域おこし協力隊として過ごした日々の中で学んだことや得た出会いは、今後の人生において大きな財産になると思っています。

今後も、自分らしく挑戦し続けながら歩んでいきます。

退任にあたり、これまで私が担当してきた市公式Instagram、協力隊Instagram、協力隊ライフ(本誌)は投稿仕様が変わっていくとは思いますが、これからも是非多くの方に愛していただき、応援していただけると嬉しいです。

最後になりますが、これまで支えてくださった市民の皆さま、そして関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

なお、これまで行ってきた活動の具体的な報告は、9月14日（日）11:00～12:00に協力隊OBの沖横田さんの拠点「ぷらっとアキタカタ」をお借りして行う予定です。ぜひお気軽にお越しください！
皆様にお会いできることを楽しみにしております＾＾

藤田京花